

頭取メッセージ



平素は愛知銀行をご利用、お引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

我が国の経済情勢は、米中貿易摩擦の深刻化や消費税の税率引き上げなどによる景気後退への不安感が漂っていたところに、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が起こり、国内においても緊急事態宣言が発令されるなど、経済活動は大きく停滞することとなりました。

人やモノの移動制限、訪日外国人客の急減、製造業での相次ぐ減産などにより、景気は急速に冷え込んでおり、地域のお客さまを資金の面で支える地域金融機関としての役割が、一段と強まっているところです。

こうした経営環境の中で、2019年4月にスタートしました「第11次中期経営計画」では、3つの改革「収益構造改革」、「店舗・業務改革」、「働き方改革」を成し遂げるために、4つの基本方針「営業力・収益力強化」、「生産性向上」、「人財強化」、「ガバナンス強化」を定め、「お客さまのパートナーとして地域社会に貢献する銀行」を目指しております。

「収益構造改革」については、貸出金利息および役務利益の増強と、経費の節減につとめた結果、経常利益、当期純利益とも第11次中期経営計画1年目の計画値を上回る進捗となっています。

「店舗・業務改革」については、2020年2月に本部組織の改正を行い、合理化や生産性向上のための店舗改革や、IT・デジタル化によ

るお客さまの利便性向上につながる金融インフラの整備・拡充などを行っております。

「働き方改革」については、ダイバーシティ推進を加速していくため2019年11月に「ダイバーシティ推進委員会『あいちーむ』」を設置したほか、2020年3月には経済産業省などが実施する「健康経営優良法人認定制度」において、大規模法人部門のうち、上位500法人のみに認定されます「健康経営優良法人2020～ホワイト500～」に、2年連続で認定されるなど、着実に取り組みを進めているところです。

加えて、持続可能な社会の実現のため国際社会全体で取り組むべき目標であるSDGsの達成に向けて、より一層貢献していくため、「あいぎんグループSDGs宣言」を2020年1月に制定しました。「環境の保全」、「地域経済の持続的発展」、「豊かな生活と多様な人材の活躍」を重点取組方針として、グループ全体で取り組んでおります。

今後も「ソリューション営業力の強化」、「商品・サービスの拡充、高付加価値化」などにより、お客さまへの提供価値の向上を図り、顧客貢献と収益力強化を同時に実現していきます。

当行は2020年9月に創業110周年を迎えます。永年にわたり当行を支えていただいております地域のお客さまに感謝を申し上げますとともに、これからも地域のお客さまを全力で応援していく経営体制の構築に引き続き努めてまいります。

取締役頭取 伊藤 行記

経営計画

第11次中期経営計画 (2019年4月～2022年3月)

地域のお客さまを全力で応援します

目指す銀行像

『お客さまのパートナーとして地域社会に貢献する銀行』

基本方針1 営業力・収益力強化

- (1) お客さまへの提供価値向上
- (2) リスクとリターンの最適化
- (3) 地域創生への取組み強化
- (4) 市場運用力の高度化

基本方針2 生産性向上

- (1) 店舗・業務改革の推進
- (2) IT戦略・非対面チャネルの強化
- (3) 働き方改革の推進
- (4) 経費の最適化

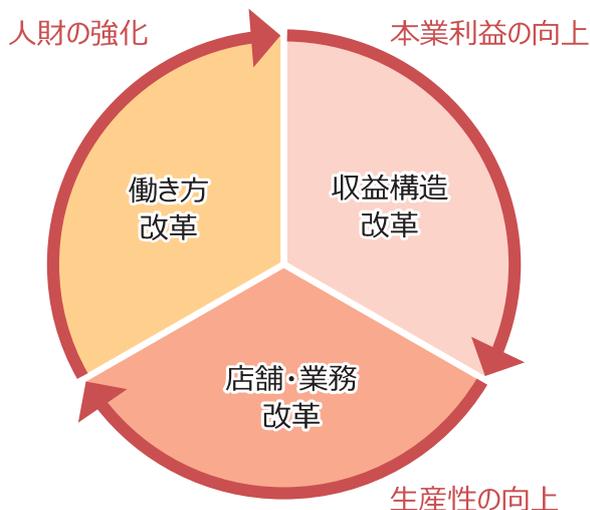
基本方針3 人財強化

- (1) 次世代を担う人財の育成
- (2) ダイバーシティへの取組み強化

基本方針4 ガバナンス強化

- (1) お客さま本位の業務運営方針への取組み
- (2) リスク管理態勢の強化
- (3) ESGへの対応

3つの改革



第11次中期経営計画で目指す経営指標 (2021年度目標)

コア業務純益	65.5億円
経常利益	58.5億円
当期純利益	41億円